

1 公共施設のあり方について

(1) 図書館

豊田図書館を子育て相談機能を備えた(仮称)子ども図書館とするため、設計と改修工事のための予算、約2億7,000万円が計上されている。

一般の方の利用はどうか。

既存の豊田図書館を(仮称)子ども図書館に特化する理由は何か。

中央図書館、福田図書館、竜洋図書館、豊岡図書館とのかかわりはどうか。

今後の磐田市の図書館のあり方をどう考えているのか。

(2) 小中学校

豊田中学校区の学府一体校の整備に向けた基本設計・実施設計予算、約5,800万円が計上されている。

豊田中学校と豊田北部小学校を一体校とし、豊田東小学校はそのままというB型で運営をスタートし、将来は豊田東小を含めたA型を目指すとしている。かわら版に、「適正な規模で出発すべきである」とある。適正規模とはどのくらいの人数をいうのか。

豊田中と豊田北部小の老朽化が問題となっているが、それぞれで建て替えることはできないのか。単独校での建て替え費用の概算は。

小学1年生から中学3年生までの児童や生徒の発達は大きく違う。現豊田中学校敷地が一体校を建設するに適しているとある。施設にしても体育館やプール、グラウンドなどの使用をどうしていくのか。

スケジュールとして平成29年、30年に基本設計・実施設計を、平成31年、32年に建設を、平成33年開校、としている。今後の磐田の教育を考えると、拙速に一体校を進めることは児童生徒の十分な発達を抑制し、地域の教育力を低下させかねない。豊岡東小の豊岡北小への統合の場合を考えても、拙速に進めるべきではないと考える。見解は。

(3) 幼稚園・保育園

磐田中部幼稚園と磐田西幼稚園の統合園として、(仮称)中泉こども園施設整備事業が予定されている。建設場所等、これまでの検討結果と保護者の意見はどのように聴取されたのか。

竜洋地区の北保育園と西保育園の統合計画が出されていたが、その後どうなったのか。

(4) スポーツ施設

卓球場とアーチェリー場の建設が具体化されている。内容と利用者の意見はどのように生かされたのか。

東大久保にテニスコートが増設されたが、全体的にはテニスコートが減少している。利用者の声をどのようにとりまとめたのか。今後のテニスコート増設の予定はあるのか。

(5) 文化施設

(仮称)磐田市文化会館の基本・実施設計と用地取得として約6億円が計上されている。

アミューズ豊田南側を予定候補地として決定した経緯は。

利用者との話し合いはどの程度なされたのか。

用地取得の合意は確認されているのか。

建設予定地までの交通手段をどう考えているのか。

現市民文化会館跡地利用としての調査・検討はどのように行うのか。

(6) 支所

12年前からすると支所職員の数が大幅に削減されている。支所は地域の核となる施設である。本庁まで行かなくとも、支所で用件が済まされるよう充実すべきと考える。今後の支所のあり方を伺う。

2 安全・安心

(1) 水害対策

「9月の台風シーズンになると、大雨による被害が心配で夜も眠れない」との声を聴いている。排水路や川沿いのお宅は、今も不安を抱えている。

水害対策として現在行っている事業は。

住民からの苦情により改善した点があるのか。

下流の排水路や排水路が合流する地点は、大雨の際あふれる危険がある。排水対策として今後行うべき事業は何か、伺う。

(2) 地震対策

避難空間を確保できる耐震シェルターに対して補助をする制度が創設されている。補助対象や効果について伺う。

木造住宅耐震補強工事助成の今後について伺う。

(3) 道路の安全対策

道路の陥没やでこぼこな道路など、安全上問題のある道路が放置されている場合がある。陥没等は直営職員がすぐ対応してくれているが、でこぼこな道路の改修は時間を要する場合が多いように見受けられる。

道路管理体制はどうなっているのか。

住民からの苦情による改善はどうしているのか。

道路瑕疵事故が起きないための手立てをどうしているのか。